

1年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・歌や曲に合わせて、手やカスタネット・タンブリンなどの打楽器を演奏したり、音楽に合わせて身体表現をしたりすることを楽しむことができる児童が多い。
- ・音楽を聴くと自然に体を動かしたり旋律を口ずさんだりするなど、音楽を感覚的に捉えることができる児童が多い。
- ・鍵盤ハーモニカの指使いが上手にできず、演奏に参加できない児童が各クラス複数いる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・音楽を聴いて体を動かしたり踊ったりするなど、活動そのものを楽しむ傾向が見られる。
- ・自分の思いや考えを、リズム打ちや歌遊びに表せる児童が多い。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽の授業を楽しみにし、新しい楽曲を積極的に覚えようとする様子が見られる。
- ・様々な表現活動を楽しみながら学習に取り組み、学んだことを生かそうとする児童が多い。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・曲の特徴やリズムを感じながら、歌ったり演奏したり、自由に表現したりする楽しさを味わう。
- ・拍の流れに合わせてリズム表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付ける。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・表現活動の楽しさを味わわせる授業を積み重ねる。
- ・音の強弱・速さ・リズムの違いなどを体験し、様々な表現方法を知る。
- ・発する音の音楽性に留意して、音の印象を判断する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・発する音に気を付けて、美しい響きで演奏しようとする。
- ・音に関心をもって聴いたり演奏したりして、音色に対する感覚を育てる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・音楽を聴いて体を動かしたり、踊ったりする活動を楽しむ児童の姿を大事にし、常に音楽と一体となった楽しい表現活動ができるよう魅力のある教材の選択と指導を工夫する。
- ・音楽に合わせて歩く、拍の流れに乗って身体表現をする、リズム遊びを通して簡単なリズムやフレーズを模奏する、体でリズムを感じ取ることができる授業をする。
- ・打楽器や鍵盤ハーモニカに親しませ、簡単なリズム・旋律を演奏できるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・範唱や範奏を聴いてリズムや曲の特徴を感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。
- ・友達と一緒に歌ったり、歌詞の表す情景・気持ち・場面など思い浮かべたりして、表現を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音やリズムを聞き味わう活動を通して、音楽を聴くことに親しみをもたせるようにする。
- ・自分の歌声や友達の歌声に関心をもたせ、丁寧に歌ったり、みんなの声と合わせて歌ったりする習慣が身に付くようにする。

2年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・曲の全体像を捉え、旋律を覚えて歌うことができる。
- ・鍵盤ハーモニカに親しみ、5指で演奏できる音域を広げている。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・音楽を聴くと自然に体を動かしたり、旋律を口ずさんだりしている。曲にあった身体表現をしながら、場面を思い浮かべることができる。
- ・歌いながら手拍子を打ったり身振りをしたりし、身体表現を通して曲のリズムや気分を感じとって表現している。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・新しい歌や曲に対して積極的に取り組もうとする様子が見られる。様々な音楽活動に生き生きと意欲的に参加している。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・拍の流れに沿ってリズムよく表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付ける。
- ・鍵盤ハーモニカの演奏では指跨ぎや指くぐりなどの指使いを意識して演奏する技能を身に付ける。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・声の出し方、曲の速度、強弱の工夫などを学習し、音楽の特徴を感じ取って表現を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音に関心をもって聴いたり演奏したりして、音色に対する感覚を育てる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・体でリズムを感じ取り、拍の流れに乗って身体表現をしたり簡単なリズムフレーズをつくったりすることができるようにする。
- ・友達の歌声を聴きながら歌ったり、互いの声を聴きながら歌声を合わせようとしたりする習慣を身に付け、発音や声の出し方に関心をもって歌うことに慣れるようにする。
- ・鍵盤ハーモニカで運指に気をつけながら旋律を演奏して楽しむことができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・音楽を聴いたり歌ったりして、拍の流れを感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。
- ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさに気付いて、進んで表現しようとする意欲をさらに高めるようにする。
- ・友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるような場の設定や、学習教材の工夫をする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・表情豊かに表現したり想像力を広げながら鑑賞したりする体験を積み重ねる。
- ・様子を思い浮かべ、絵を描くなどしてイメージを広げながら、歌い方を工夫したり音楽を聴いたりする能力を伸ばす。

3年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・低学年で培った感性を生かし、曲の特徴を感じ取って演奏したり、身体表現をしたり、旋律をつくったりすることができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・口を大きく開け明るく元気に歌っており、呼吸や発音の仕方に気を付けようと意識して取り組んでいる。
- ・リコーダーの音に親しみ、基本の息の使い方や正しいタンギングを大事にして意識的に取り組んでいる。
- ・人の声や楽器による表現に関心をもち、その特徴を感じ取って聴いている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽の授業を楽しみにしている児童が多く、新しい歌や曲に対して積極的に取り組んでいる。
- ・リコーダーに興味をもち、進んで練習に取り組む児童が多い。

重点課題

〈知識及び理解〉

- ・歌詞の意味や、曲の全体の雰囲気を感じ取って歌うこと。
- ・運指や息使い等、リコーダーの基本的な奏法を身に付けること。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・リズムや音程に注意しながら聴唱や聴奏をすることを継続し、さらに旋律の表現を豊かにすること。
- ・音楽の流れを体全体で受け止め、生き生きと演奏したり身体表現をしたりすること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・学び方を身に付け、音楽活動の楽しさを進んで感じ取り、学習への意欲を高めること。
- ・様々な音楽を楽しもうとする意欲や態度を身に付け、楽曲の良さや美しさを感じ取る能力を伸ばすこと。

授業改善策

〈知識及び理解〉

- ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌ったり、リズム活動などを通して豊かに音楽を表現して楽しんだりすることができるようにする。
- ・リコーダーの練習曲では、ハ長調の階名視唱を繰り返しながらタンギングを身に付け、簡単な曲を演奏できるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・歌詞の言葉を理解したり、曲のリズムや言葉の抑揚に気を付けたりしながら、気持ちをこめて歌えるようにする。
- ・階名視唱や階名視奏を重ねながら、旋律の音の動きを意識させる。旋律の流れの中で、拍感やフレーズ感を感じ取って演奏したり、身体表現をしたりする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・魅力ある教材の選択と学習指導の工夫をすることによって、生き生きと音楽活動に取り組み、思ったことや感じたことを表現できるようにする。その過程で、愛唱歌や愛好歌を増やしていくようにする。
- ・音楽に合わせて口ずさんだり、身体表現したり、様々な楽器の音色や声の特徴を感じ取りながら聴き取ったりして、音楽を鑑賞する楽しさを味わうようにする。

4年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・明るく響きのある声で歌ったり、声や音を重ねたり、終止感に気を付けながら旋律をつくったりすることができる。
- ・リコーダーは、姿勢・構え・指使いまではほぼ定着しているが、サミング奏法については、まだ不安定である。
- ・楽曲の強弱・速度・拍子等の特徴に気を付けて、楽しく聴いている。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・創作した簡単なリズムを、拍の流れの中で演奏することができる。
- ・楽曲に合った表現（強弱・はずむように・なめらかに等）をしようとしている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽を楽しみ、歌唱・器楽演奏などの表現や鑑賞の活動に、意欲的に取り組む姿が見られる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・声の響きに気を付けて伸びやかな声で歌い、音色を生かす奏法に気付いて楽器を演奏できるようになること。
- ・リコーダーの指使いや息の入れ方、サミング奏法を定着させ、演奏の技能を伸ばすこと。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・より多くの音楽的な要素に気付き、楽曲の感じに合った歌い方や演奏を工夫し、曲想に合った表現をすること。
- ・音楽の仕組み(反復・変化)を生かして、音楽づくりができるようになること。
- ・音楽を特徴付けている様々な要素の働きの気付いて、音楽のよさや楽しさを味わって聴くこと。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・より積極的に歌唱・演奏し、友達の表現のよさに気付いて学習すること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・歌唱するときの姿勢・呼吸・発声の指導を積み重ね、曲想に合った歌い方や声の出し方が身に付けられるようにする。
- ・一人一人の音色を聴く機会をもち、的確なアドバイスと練習を繰り返すことにより、基礎的な演奏技能(音色・サミング・タンギング等)を伸ばしていく。
- ・曲想の変化、音楽を特徴付けている要素の働き、楽器の音色等についての理解を深めながら、音楽のよさや美しさを感じ取れるように指導を工夫する。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・曲想や特徴を感じ取り、歌唱や身体表現で表すようにする。
- ・友達と様々な音やリズムの組み合わせを工夫したり表現したりする、音楽づくりの活動を行う。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・児童の実態に合わせて、学習形態や内容を工夫し、できる楽しさを味わわせ、関心をもたせる。
- ・互いの歌唱・演奏を聴き合う学習活動を多く取り入れ、認め合い・高め合う学習を通して意欲をもたせる。

5年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・明るく響きのある声で歌うことや、声や音を重ねることができる児童が多い。
- ・リコーダーは、姿勢・構え・指使いまではほぼ定着しているが、サミング奏法についてはまだ不安定である。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・創作した簡単なリズムを、拍の流れの中で演奏することができる。
- ・楽曲に合った表現（強弱・はずむように・なめらかに等）をしようとしている。
- ・楽曲の強弱・速度・拍子等の特徴に気を付けて、楽しく聴いている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽を楽しみ、歌唱・器楽演奏等の表現や、鑑賞の活動に、意欲的に取り組む姿が見られる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・より響きのある声で、少人数でも自信をもって歌うことができること。
- ・リコーダーは指使いや息の入れ方、サミング奏法を定着させ、演奏の技能を伸ばすこと。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・より多くの音楽的な要素に気づき、楽曲の感じに合った歌い方や演奏を工夫し、曲想に合った表現をすること。
- ・音楽の仕組み(反復・変化)を生かして、音楽づくりができるようになること。
- ・音楽を特徴付けている様々な要素の働きに気付いて、音楽のよさや楽しさを味わって聴くこと。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・より積極的に歌唱・演奏し、友達の表現のよさに気付いて学習すること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・歌唱するときの姿勢・呼吸・発声の指導を積み重ね、曲想に合った歌い方や声の出し方が身に付けられるようにする。
- ・一人一人の音色を聴く機会をもち、的確なアドバイスと練習を繰り返すことにより、基礎的な演奏技能(音色・サミング・タンギング等)を伸ばしていく。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・曲想や特徴を感じ取り、歌唱や身体表現で表していくようにする。
- ・友達と様々な音やリズムの組み合わせを工夫したり、表現したりする、音楽づくりの活動を行う。
- ・曲想の変化、音楽を特徴付けている要素の働き、楽器の音色等についての理解を深めながら、音楽のよさや美しさを感じ取れるような指導を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・児童の実態に合わせて、学習形態や内容を工夫し、できる楽しさを味わわせ、関心をもたせる。
- ・互いの歌唱・演奏を聴き合う学習活動を多く取り入れ、認め合い・高め合う学習を通して、意欲をもたせる。

6年生 〈音楽科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・響きのある声でのびのびと歌っている児童が多く、声による重なりもおおむね美しく響かせることができる。
- ・変声期に差しかかっている男子児童の中に、遠慮がちに歌っている児童が数名いる。
- ・リコーダーは、難しい指使いも正確におさえ、表現すること自体を楽しんでいるが、タンギング奏法が身に付いていない児童が多い。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・合奏では、音楽の仕組みを生かして各パートの音色を聴き合い、音量のバランスを考えて表現しようとしている。
- ・歌詞の内容や情景を生かした表現になるように、発声や強弱に気を付けて、思いをこめながら歌えるようになってきている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽への関心・意欲が高い児童が多く、合唱も合奏も主体的に取り組む姿が見られる。
- ・明るく響きのある声で歌う工夫や、歌詞の内容や旋律から曲想を感じ取って、表現を工夫しようとしている。
- ・楽曲の特徴に気付いたり、曲想や情景を感じ取ったりして聴くことが、おおむねできる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・基礎的な表現能力（技能）を更に高め、合奏では協調して楽曲を表現できるようにすること。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・音楽の仕組み（反復・変化）や要素（強弱・速度など）を生かして、創意工夫して音楽づくりができるようになること。
- ・音の重なりや和声の響きなど、音楽を特徴付けている要素を感じ取り、表現を工夫すること。
- ・呼吸と発音の仕方を工夫し、表現豊かに響きのある美しい声で歌えるようになること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・活動に主体的に取り組む、感じ取った楽曲の曲想に自信をもって、合唱・合奏でのびやかに表現できるようになること。
- ・進んで音楽を聴き、楽曲の様々な特徴、演奏の楽しさや魅力を感じ取り、音楽のよさや美しさを味わえるようになること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・合奏では、ペアやパート別練習に取り組む、互いに教え合いながら技能を向上させる。また、互いの音を聴き合ってハーモニーを奏できるようにする。
- ・楽曲を特徴付けている要素や仕組みの分かりやすい曲を選び、それらに気付きながら曲想を味わい、情景や心情が感じ取れるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・音楽の仕組み（反復・変化）や要素（強弱・速度・重なりなど）を表現や鑑賞を通して感じ取ったり、表現に取り入れたりする学習を積み重ねていく。
- ・友達の表現を互いに聴き合い、そのよさを見付け、自分の表現に生かして高め合っていく。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・めあてや課題を明確にし、児童が主体的に活動できる学習内容や形態を工夫する。
- ・友達と協力して表現する楽しさや、聴き合う大切さを実感できるようにして、意欲をもたせる。
- ・変声期を迎えている児童には、無理のない声で歌うよう発声の仕方を工夫させ、同じ声域の児童同士でまとめる等、活動場所も工夫する。

